



# いずみのひるば



## 力あるイエス様のお言葉

マタイ 8章 5-13節



イエス様は湖の近くのカファルナウムという所に帰ってこられました。カファルナウムでは、たくさんの人がイエス様の噂をしていました。「ねえねえ、イエス様って知ってる？」「知ってるよ。凄いいらしいね。ユダヤ人の救い主なんだって！」「この前なんて、長い間病気がだった人がイエス様に触っただけで元気がなったんだって！」「すごいねえ、ぜひお話を聞きに行かなくちゃ！」そんなことで、毎日たくさんの人がイエス様、イエス様と近寄ってきました。

ところがある日、イエス様とところに、ローヌ軍の隊長が近づいてきました。集まっていたユダヤの人たちはドキッとしました。その頃、ユダヤ人は、ローヌという強い国に支配されていて、ローヌの兵隊たちがあちこちでユダヤの人たちを見張っていたんです。人々は、ローヌの兵隊の隊長がイエス様に何の用があるんだろかと、じっと見守りました。すると、その隊長は必死な顔でイエス様に言いました。「主よ、私の大切な家来が重い病気になったので、どうぞ助けてください。隊長の言葉を聞いたイエス様は、「わかりました。では、私があなたの家に行行ってあげよう」とおっしゃいました。隊長はどうしたのでしょうか？「ありがとうございます！！こちらです。どうぞどうぞ！！」と大喜びで、案内したのでしょうか？いいえ、まったくその逆です。隊長は首をぶんぶん振って、「主よ、私の家に来ていただけなんて、とんでもないことです。私にそんな資格はありません。ただ一言だけ、イエス様のお言葉をください。そうしていただければ、私の家来は治ります」と言いました。

実は、この隊長は百人隊長と言って、兵隊を100人率いている偉い隊長だったんです。隊長は、いつも兵隊が自分の言葉に従うの見ていたので、偉い人の言葉の力をよく知っていたんです。たとえば、兵隊に「集合！と命令をかけると、「はい隊長！と行って100人の兵隊がすぐにピシッと並びます。「見張りにつけ！と命令すると、「はい隊長！と、みんなすぐに待ち場につくんですね。「敵と戦え！と行っても、兵隊は勇敢に戦うんです。隊長の言葉には力があつたんです。

でも、病気になった人に「治りなさい！と命令しても、さすがにそれは無理だったんですね。隊長はどうしても家来を助けてあげたくて、一生懸命考えました。そして、「そうだ！イエス様にお願ひしてみよう」と思いついたので、ユダヤの人たちを見張っている間に、隊長は、イエス様の噂を聞いていたのかもかもしれません。イエス様は、自分にはないすごい力を持った方、神様の力をお持ちの方だと思っていました。だけど偉そうではなく、どんな人とも友達になつて助けてくださる方。(イエス様はユダヤ人の救い主だから、ローヌ人の私の家に来てもらうことはできません。だけど、イエス様が一言、「病気よ、出て行け！と行っていただけたら、病気は出て行くに違いない。)隊長はそう信じたからイエス様に会いに来たんですね。

イエス様はこの隊長の信仰に驚いて、とても喜ばれて、こうおっしゃいました。「家に帰りなさい。あなたの信じたとおりになるように。イエス様からお言葉をもらった隊長は喜んで家に帰りました。するどうでしょう。イエス様がその言葉を言われた同じ時間に、家来の病気は治っていたのです。

イエス様の言葉には力がありません。隊長が信じたとおりでした。イエス様はユダヤの救い主だけど、イエス様の言葉は、ユダヤの人だけではなく、ユダヤの人が大嫌いなローヌの兵隊も救いました。今日読んだ聖書がその証拠です。ローヌの人だけではなく、ユダヤの人はありません。イエス様は世界中の人たちを愛されているので、今、ここにいます私たちにも、イエス様の救いの言葉が届いています。イエス様の言葉には、私たちを救う力があるのです。イエス様の言葉を聞かために、これからも教会学校に通いましょう。

(お話し 大井 香先生)